

串間温泉いこいの里

〒888-0008 串間市大字本城987
TEL 0987-75-2000 FAX 0987-75-2280
営業時間：午前10時～午後10時
定休日：毎月第3水曜日

日帰り温泉付きプラン

温泉をゆっくり堪能した後に、和（海鮮丼+あら汁）と洋（本日のパスタ+スープ）のどちらかのランチを選択していただき、個室（20名以上の団体様は大広間）でたっぷり2時間休憩いただけます。ツルツル美肌の温泉とおいしいお食事で楽しい時間をお過ごしください。お食事の時間は11時から4時までの間で2時間となります（午後1時までにおこしください）。
※提供できる部屋に限りがございますのでご予約される事をお勧めいたします。



写真：海鮮丼

風呂の日イベント開催中

今日は18日（日）です。
毎月第3日曜は風呂の日として、ハズレくじなしの抽選会、レストランお一人様100円引などのイベントを開催いたします。

口蹄疫関係

まずは畜産農家をはじめとする関係者の方々にお見舞い申し上げます。いこいの里でも「バーベキューガーデン」や「わくわく温泉夜市」を計画中でしたが、現在状況を見ながら検討中という状況です。詳細につきましてはいこいの里にお問い合わせください。
いこいの里ではフロントにて口蹄疫関係の募金を行っております。7月31日でいったん取りまとめ、社会福祉法人「宮崎県口蹄疫被害義援金」へ寄付させていただきます。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。
※5月27日に川南町役場にマスク4,800枚を現物支援させていただきました。ありがとうございました。

イベントのお知らせ

今月の表紙

山崎修二・リサさん ご夫妻
YAMASAKI syuuji,risa



福島地区・セツ橋にお住まいの山崎修二さん(36歳)、リサさん(37歳)ご夫妻。「休日は子どもたちのサッカーやバレーボールの応援に出かけることが多い」というお二人。それ以外の日も、弁当を作って公園に家族で出かけたり、修二さんが所属する野球チームの試合を応援に行ったりと、家族で過ごす時間を大切にしています。取材日はW杯サッカー日本対オランダ戦の当日。「家族でテレビを見ながら日本代表を応援します」と、テレビ放送を待ち切れない様子で話すお二人でした。

FROM EDITOR'S

口蹄疫が猛威を振るう中、梅雨入りした。懸命の防疫作業も雨のためなかなか進まないようである。梅雨が明ければ夏本番を迎え、通年なら夏の行楽などを考えるところであるが、そんな沙汰でもない。ただ終息を願う日々を過ごす(ト)

休日、小雨の降る中、ふるさと林道にアジサイを撮影に行った。が、クルマを降りたとたん土砂降り。カメラは濡らさなかつたが自分はずぶ濡れ。計ったかのようなタイミングで降りだした雨に、日ごろの行いを思わず自問した(カ)

ついに、デジタル一眼レフカメラを購入してしまいました。かなり高い買い物になってしまい、生活費を圧迫しています。しかし、カメラの腕前を上げるためには、これくらいは耐えなければと自分に言い聞かせているところです(ナ)

都

井岬灯台は、宮崎県の最南端に位置し、海拔245mの断崖上にそびえる真っ白な灯台で、昭和4年に建築され、今年の12月で81歳を迎えることとなります。屋上庭園式の斬新な設計のコンクリート造りの、とても美しい沿岸灯台です。地上から灯台頂部まで15m、海面から灯火まで255m、15秒ごとに白色光が1閃光約43km先まで光が届きます。昭和19年に光源が石油ランプから電化され、光度は東洋一と言われましたが、翌20年7月に、空襲で灯室が大破。5年後復旧されましたが、大型台風で再び大破し、現在の灯室は、26年に復旧されたものです。海面から灯火まで255mは国内第4位の高さ。全国に約3、300基ある灯台の中で、上ることが出来る灯台は15基だけ、九州では沖繩を除き、唯一上ることが出来る灯台になります。航路標識である灯台は、船舶が安全に航海するためにはなくてはならない「海の道しるべ」。海上保安部の方々が、6年前まで24時間体制で滞在していました。わたしも仕事をする一方で、たまに灯台のレンズ磨きなどをさせていただき、貴重な体験をしたことを思い出します。以前、朝日新聞で灯台が紹介されたとき、二面レンズを「どら焼きのような背中合わせの二枚レンズ」と表現していました。これは、わたしが三人ほどずつ入り、直径16mの大きな物です。このレンズは手作業で作られましたが、現在では加工する職人がいなくなり大変貴重な物になっています。今は毎月、保安部の方が保守点検に来られています。当時こんなエピソードがありました。車いすの方が、「一度でいいからこの階段を上り、灯台から眺める雄大な景色をこの目で見てみたい」とおっしゃいます。

「都井岬灯台への思い」

した。早速、保安部の方に相談し、みんなで車いすのまま、上まで運んであげました。その日は快晴で最高の景色。とても感動されていました。逆にわたしたちが幸せをもらい、とても優しい気持ちになりました。うれしかったことを今も覚えています。また時には、お客さまが「30年ぶりに来ました。あのころ子どもたちもまだ幼かったのですが、今では親となり、孫もでき、以前のままの灯台をバックにした写真がとりたくて」と話されていました。いろいろな方と会話し、それぞれの思いがあるのだと感じました。
春には春の香り、色、動き、音があるように、春夏秋冬、さまざまな季節を感じることが出来る自然の風物詩の集い。このような素敵な場所である都井岬は、串間市の代表的な観光地。6月号で野辺さんが都井岬の話題を取り上げられ、「主役は市民、メディアは市民の後押しをするだけ」とおっしゃっていました。その一歩は非常に大きな力となるとわたしは信じています。自然豊かなこの地を、皆さんにもっと知っていただき、まず地元の皆さんに愛される場所でありたいと願います。人生にはいろいろな巡り合いがあり、強い巡り合いはいつまでも心に残るもの。これからも見学に来てくださった方々や、出会った方々に対し、いつまでも思いやりの心で接し、少しでも満足していただき、また訪れたい灯台と言われるよう、精進していきたくと思っています。



▲都井岬灯台

随想◎井手喜美子

くしま
読者
プレゼント

お便りをくださった方から抽選で、「釜めし」と「豆乳鍋」セットのお食事券を25名様にプレゼント。
応募締切は7月30日(金)当日消印有効です。

串間市役所総合政策課
情報政策係 行

(No.866/2010.7)

POST CARD

8 8 8 - 8 5 5 5

お手数ですが
50円切手をお貼りください

◎ご氏名
フリガナ

年齢 / 歳 性別 / 男・女

◎ペンネームまたはイニシャル

※記入がない場合、実名で記載させていただきます。

◎ご住所 □□□□□□□□

電話 () -

◎抽選で25名様にプレゼント致します。
串間温泉いこいの里 お食事券



Profile

いできみこ(46歳) / 1964年上都元生まれ。福島
高校卒業後、地元病院勤務を経て結婚、退社。2男2
女の母となり、子育て中、パートタイムの仕事に就く。
平成12年より都井岬灯台(社団法人燈光会都井岬支
所)勤務